

研究班番号【43】  
「でん」はどこからきたのか

国語班: 益田 育実

## 要約

本研究の目的は大阪弁の「でん」の語源を明らかにすることである。」はじめに言葉の語源の種類について調査し、そのうち3つを抜粋し考察した。そこから「でん」の語源は漢字の「伝」であるということが結論付けられた。

## 1. はじめに

高校にきて初めて「でん」という言葉が現在大阪全体で使われている大阪弁ではなく、主に昭和や平成初期に大阪全域で使われて、その名残で大阪の所々で使われている言葉だということ。(大阪の一部地域では鬼ごっこ自体を「でんつき」と読んでいる地域がある) また「でん」という言葉に興味を持ち調べてみると「でん」の語源がわかっていないということを知った。そこでまず様々な言葉の語源を調べ、それをもとに仮説を立て、文献研究をし、要因を考察した。本研究の目的は興味持ってくれた人に読んで面白いと思っていただくことである。

## 2. 実験方法

まずは日本語にはどのような語源の種類があるのかを調べ、そこから「でん」の語源の可能性がありそうな語源の種類を抜粋し仮説を立てた。その後、その仮説について文献調査を行ないながら考察をした。

## 3. 調査・考察

語源の種類について調べると、漢字の読み、様相を表したもの、擬態語、擬音語、事柄、外来語、言葉の組み合わせ、などがあるとわかった。以下の図はこれらの語源の種類と例をまとめたものである。

語源の種類	例
漢字の読み	赤目→あかめ→あかんべい→あかんべー
様相を表したもの	赤ちゃん
擬態語	もくもく あせあせ ぴよんぴよん
擬声語	わんわん 電電太鼓
外来語	瓦 サンスクリット語の「kapala」
事柄・行事	宗教(阿吽の呼吸)
言葉の組み合わせ	天下 閉会式

これらから「でん」の語源の可能性がありそうなものとして

- ①漢字の読み→「伝」 ②擬音語→タッチをする動作 ③事柄→鬼ごっこ  
の三つを考察することにした。

### ①漢字の読み

「伝」の漢字の意味を調べると人から人へとりつぐ。つたえる。つたわる。つたえ。とあった。鬼ごっこの前身であると考えられている「追儼」という宮中行事(方相氏という役割の人が鬼を祓う儀式)が存在していたと考えられている平安寺では、鬼が災厄や病気などを伝え広めてゆくと考えられていたので、現在の鬼ごっこの鬼役は逃げる役にタッチをすることで何かを「伝える」と考えられる。

### ②擬態語

タッチの動作の擬態語が「でん」であっても違和感はないだろう。また他の道府県よりも擬態語擬声語が多く使われている大阪で「でん」が残っていることにも当てはまる。また鬼ごっこが民衆に広まった江戸時代の文献に擬態語が登場しているのでその点でも矛盾はない。

### ③鬼ごっこ

鬼ごっこは、追儼→ことろことろ→鬼ごっこ と変遷した。そこでそれぞれは鬼にタッチする際どのようなことしていたかを調査したところ、

- ・追儼では鬼を祓うときに鬼に触れたりせず呪文を唱えていたこと。
- ・ことろことろではタッチをするが、無言でタッチしていたこと。

などがわかった。これらより鬼ごっこの起源が「でん」の語源にはかかわっていないと考えた。

上記の①と②より、「でん」は漢字の「伝」が口で伝えられていくに連れひらがなに变化していき擬態語が多く使われている大阪でよく受け入れられたと結論づけた。

## 4. まとめ

以上のことより「でん」の語源は漢字の「伝」であると結論づけた。

今後の展望としては現在「でん」と用法で使われている単語として「タッチ」があるが「タッチ」は外来語であり、外来語が日本に本格的に広まり始めたのは鎖国後で鬼ごっこは少なくとも江戸時代にはあったまた「でん」が大阪のみではなくすしはなれた愛知県などでも使われている地域があるため「でん」が本来の日本語なのではないか。という仮説についても研究していきたい。

## 5. 参考文献ならびに参考Webページ

北原保雄2009小学館『精選版日本国語大辞典』

中村徳次2015誠美堂『外来語新語辞典』

寒川恒夫2003明和出版『遊びの歴史民俗学』

前田富棋2005小学館『日本語源大辞典』

本居宣長『新古今集 美濃の家づと』

中里理子2006上越教育大学『オノマトペに見る漢語の影響』

全国大阪弁普及協会 <http://www.interq.or.jp/osaka/inside/osakaben/bunpou.html>

Alexandre GRAS 2004『追儼における呪文の名称と方相氏の役割の変化について』

<https://www.lang.nagoya-u.ac.jp/nichigen/issue/pdf/5/5-03.pdf>

大谷将史2000『大阪の方言』

[https://www.osaka-ohtani.ac.jp/files/department/education/society/038\\_p38.pdf](https://www.osaka-ohtani.ac.jp/files/department/education/society/038_p38.pdf)